

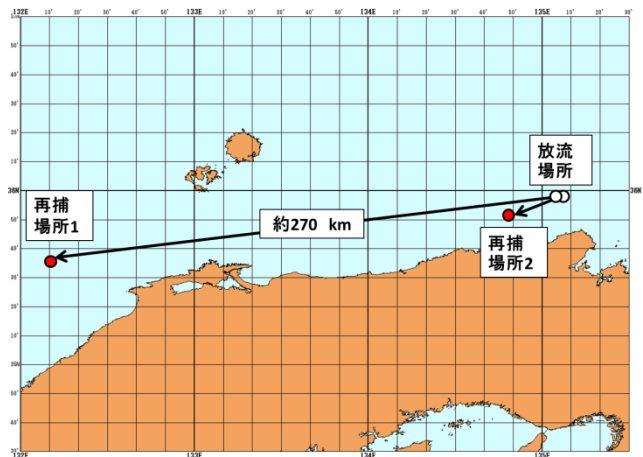
14 年ぶりに再捕された標識放流アカガレイ

海洋センターでは、本府の重要な水産物であるアカガレイの生態を知るため、番号が刻まれた小型の標識（円盤タグ）を魚体に付けて放流しています。

平成 29 年 4 月に鳥取県と兵庫県の底曳網漁業者から、タグの付いたアカガレイが獲れたとの報告がありました。このアカガレイはタグの番号から、2 尾とも府沖合で 14 年前に放流したものでした。このうち、鳥取県の漁業者が漁獲したアカガレイは、放流場所から約 270 km も離れた場所で獲られており、これまでで最長の移動距離を記録しました。また、放流時の大きさなどから推定すると、いずれの個体も年齢は 20 歳を優に越えていることが分かりました。こうした高齢魚の再捕事例は、保護区の設定などの取組により生き残りが良くなったことを示しており、資源が適正に管理されていると考えています。



タグを付けた放流前のアカガレイ



アカガレイの放流場所と再捕場所